

特
+
別
+
展

ミュシャ 謎の絵画

Mucha
and
His Enigmatic
Painting
Quo Vadis

2025年4月20日（日）－8月17日（日）

めぐりめぐる、ワンシーン。

（みどころ）

- ①ミュシャの絵画を堺の伝統技術「堺緞通」で織り上げた新作タペストリーを初公開！
絵画の歴史に新たな1ページを刻みます。
- ②世界有数のミュシャコレクションとともに、謎の絵画《クオ・ヴァディス》の全貌を
解き明かします。
- ③パビリオンに見立てた5つの部屋を自由にめぐる構成。
125年前の壮麗な万博「1900年パリ万国博覧会」の関連作品も大集合！

展覧会名 特別展「ミュシャ 謎の絵画」

2025年4月20日（日）から8月17日（日）まで

会期 <内覧会のお知らせ>
日時：4月18日（金）10：00-17：15 / 19日（土）9：30-17：15
※18日（金）10：00-12：00は、プレス関係限定の時間帯となります。
※事前申込は不要です。当日、受付にて必要事項をご記入いただきます。
※当日、学芸員への取材をご希望の方は、あらかじめお問い合わせください。

会場 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

開館時間 午前9時30分から午後5時15分（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日、休日の翌日（7月22日）
*ただし、4月28日・4月30日・5月7日・8月12日は開館

観覧料 一般900円(720円)、高校・大学生550円(440円)、小・中学生150円(120円)
*()は20人以上100人未満の団体料金

主催 公益財団法人堺市文化振興財団、堺 アルフォンス・ミュシャ館

後援 在堺チェコ共和国名誉領事館、堺式手織緞通技術保存協会

協力 株式会社インテック、富山県美術館、東京外国語大学附属図書館、OGATAコレクション、フェニーチェ堺

制作協力 大阪刑務所

お問合せ 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：川口、藤本
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶



概要

チェコを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ（1860-1939）のパリ時代のフィナーレを飾る油彩画《クオ・ヴァディス》（1903-04年、1920年加筆）。縦横2メートルを超える大画面には、古代ローマの邸宅で少女が大理石像に口づける小説のワンシーンが描かれています。背後から覗き見る人物は、原作小説には登場しません。その正体や、このシーンが選ばれた理由など、本作にまつわる多くのことは、謎に包まれてきました。本展では、1979年に発見されるまで長らく行方不明だった《クオ・ヴァディス》の全貌を解き明かします。また、この絵画にいたるまでのミュシャの創作の軌跡を、代表的な版画作品をはじめ、挿絵、素描、油彩、ジュエリーによってたどり、当館が誇る世界有数のミュシャコレクションの魅力余すことなく紹介します。さらに、堺市に伝わる絨毯の手織り技術「堺緞通」で織られた、ほぼ実寸大のタペストリーを初公開。1910年のアメリカで絨毯の原画となるはずだった絵画の歴史に、新たな1ページを刻みます。

展示構成

Pavilion I シーンとエピソード

初期の挿絵からサラ・ベルナル主演の演劇ポスターまで、「物語」を描いたミュシャ作品の数々が並びます。

Pavilion II 1900年パリ万国博覧会

「アール・ヌーヴォーの勝利」と称された、125年前の壮麗な万博。オーストリア館のためのポスターや彫刻、ボスニア・ヘルツェゴビナ館のための壁画の下絵などを通して、ミュシャの当時の活躍を振り返ります。

Pavilion III 絵画の注文

ミュシャへの注文の多くは、空間を彩るための絵画でした。パリ時代の装飾パネルをはじめ、アメリカに拠点を移した後に受注制作した油彩画を紹介します。

Pavilion IV クオ・ヴァディス——絵画と絨毯

ミュシャの絵画《クオ・ヴァディス》を「織る」——1910年の幻の計画が、堺の伝統技術「堺緞通」によって実現。115年の時を経て叶った夢。ふたつの傑作が並ぶ歴史的機会は必見です！

Pavilion V ワンシーンの起源

「謎の絵画」の鍵を握るのは、1901年パリで巻き起こった『クオ・ヴァディス』ブーム。原作小説やその挿絵、演劇の記録、そしてある夜のイベントなどを手がかりに、当時の流行の実態に迫ります。

ミュシャ
×
堺緞通**プロジェクト「ミュシャ×堺緞通」とは？**

115年前のアメリカで、《クオ・ヴァディス》を原画とする絨毯制作の構想がありました。ミュシャのもとで果たされなかったその夢を、現在この絵画を所蔵する堺の伝統技術「堺緞通」とのコラボレーションで実現をめざすプロジェクトです。資金は2021年にクラウドファンディングで募り、392名の方々から522万1,000円のご支援をいただきました。製織を担うのは、技術を受け継ぐ大阪刑務所。約2年10か月の時を経て、2024年10月についに完成を迎えました。堺緞通史上、至高のタペストリーを、いよいよ本展で初公開いたします。



お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：川口、藤本
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶



体験

フォトスポット “絵画になりきる”再現部屋

絵画を再現したリアルな体感型フォトスポット。
絵画の人物になりきることで、19世紀末の余興「活人画」を追体験できます。

関連
イベント**【1】講演会「絵画《クオ・ヴァディス》の魅力」**

本展ならびにプロジェクト「ミュシャ×堺緞通」の企画担当学芸員が、
《クオ・ヴァディス》に関する最新の調査内容や、展覧会のみどころを語ります。

講 師：高原茉莉奈（企画担当学芸員）

日 時：2025年5月18日（日）14：00～15：30（開場13：30）

定 員：60名（申込不要・当日先着順）

対 象：どなたでも

参加費：無料 *イベントの参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。

**【2】講演会「堺緞通の歴史とミュシャの新作緞通」**

堺で江戸時代に始められた手織の絨毯、堺緞通。
その歴史と現状を紹介し、ミュシャの新作緞通の意義をお話します。

講 師：堀川亜由美（堺市博物館学芸員）

日 時：2025年8月3日（日）14：00～15：30（開場13：30）

定 員：60名（申込不要・当日先着順）

対 象：どなたでも

参加費：無料 *イベントの参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。

**【3】ワークショップ「ミニ緞通を織ってみよう」**

《クオ・ヴァディス》色に染められた残糸をつかって、
簡易器具を使用したミニ緞通の手織りに挑戦します。

講 師：堺式手織緞通技術保存協会、堺市博物館スタッフ

日 時：①4月27日（日）②6月15日（日）各日13：30～（2.5時間程度）

定 員：12名（申込先着順、受付開始①4月6日②5月18日 各日9:30～）

対 象：小学生以上（小学生は要保護者同伴）

参加費：無料 *イベントの参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。



※画像はイメージです。

スペシャル

【1】謎解きクロスワードパズル

本展期間中、オリジナルのクロスワードパズル用紙を希望者に配布します。
展示室内の解説パネルからキーワードを探し、謎解き体験をお楽しみください。

*正解者の中から抽選で本展オリジナルスカーフ(非売品)をプレゼント！

*配布数限定、なくなり次第終了

日 時：2025年4月20日（日）～8月17日（日）

対 象：どなたでも

参加費：無料 *イベントの参加には、参加当日の観覧券が必要です。



※画像はイメージです。

【2】ミュシャ重ねおしスタンプラリー

ミュシャの誕生日と命日の2つのアニバーサリーを記念し、スタンプラリーを実施
します。館内をめぐって7つの色のスタンプを重ねておすと、1枚の絵が完成します。

*配布数限定、なくなり次第終了

日 時：2025年7月12日（土）～8月17日（日）

対 象：どなたでも

参加費：中学生以下無料、高校生以上有料（1枚 100円）

*イベントの参加には、参加当日の観覧券が必要です。



※画像はイメージです。

※その他追加イベントについては当館HPをご確認ください。

※イベント申込方法など、詳細については当館HPをご確認ください。

※ホームページは随時更新します。

お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：川口、藤本
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116

E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶



（ 広報用
画像 ）

以下の広報用画像および本展ポスター・チラシ（表）画像をプレス掲載用にご用意しました。FAXまたはメールでお申込みください。

○FAXでのお申込み

次ページの<画像利用申込書>をご記入の上お送りください。

○メールでのお申込み（メール：much@sakai-bunshin.com）

上記アドレスにご連絡下さい。追って、申込フォームを返信いたします。

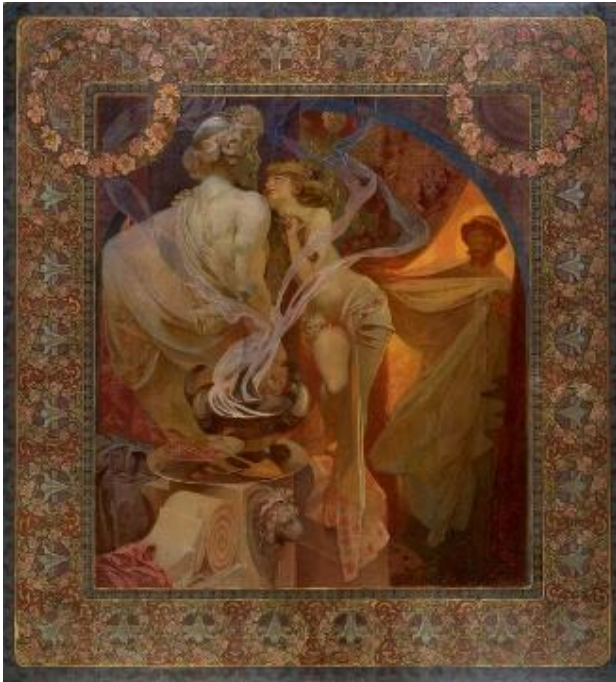
【使用条件】

*画像データの使用用途は、本展の紹介に限ります。二次使用は禁止いたします。

*掲載にあたっては各作品のキャプションとクレジットをご明記ください。

*トリミングや文字載せ等の加工はご遠慮ください。

*掲載誌（紙）を2部、当館へご恵贈ください。



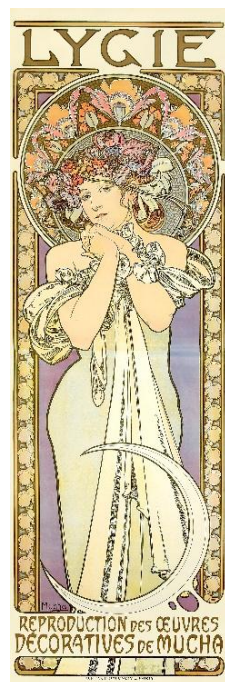
1. 《クオ・ヴァディス》



6. 《堺緞通「クオ・ヴァディス」（部分）》



5. 《ファーリー司教の肖像》



7. 《リジー》



2. 《書籍『白い象の伝説』
（第16章）挿絵〈下絵〉》



3. 《1900年パリ万博オーストリア館》



4. 《ラ・ナチュール》



8. 《蛇のブレスレットと指輪》

お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116

E-mail) much@sakai-bunshin.com https://much.sakai-bunshin.com

HP▶



画像利用申込書

FAX 072-222-6116

利用情報	お申込み日	年	月	日
	会社名			
	部署名			
	お名前			
	メールアドレス	@		
	電話番号		FAX番号	
	住所	〒		

画像利用 について	画像到着希望日	年	月	日
	画像の利用目的			
	媒体名			
	媒体種別	新聞 ・ 雑誌 ・ その他 ()		
	公開予定日	年	月	日
	掲載誌(紙)のご 恵贈(2部)	年	月	日 頃予定

利用希望 画像	<input type="checkbox"/>	○印	画像番号/作品名(ご明記いただくキャプション)
	<input type="checkbox"/>	1	アルフォンス・ミュシャ《クオ・ヴァディス》 1903-04年(1920年加筆)油彩、カンヴァス 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市)蔵
	<input type="checkbox"/>	2	アルフォンス・ミュシャ《書籍『白い象の伝説』(第16章)挿絵〈下絵〉》 1893年 墨、水彩、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵
	<input type="checkbox"/>	3	アルフォンス・ミュシャ《1900年パリ万博オーストリア館》 1899年 リトグラフ、紙 OGATAコレクション蔵
	<input type="checkbox"/>	4	アルフォンス・ミュシャ《ラ・ナチュール》 1899-1900年 ブロンズ、アメジスト 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵
	<input type="checkbox"/>	5	アルフォンス・ミュシャ《ファーリー司教の肖像》 1904-08年 油彩、カンヴァス 株式会社インテック蔵(富山県美術館寄託)
	<input type="checkbox"/>	6	《堺緞通「クオ・ヴァディス」(部分)》 2022-24年 羊毛、木綿 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵
	<input type="checkbox"/>	7	アルフォンス・ミュシャ《リジー》 1901年 リトグラフ、紙 OGATAコレクション蔵
	<input type="checkbox"/>	8	アルフォンス・ミュシャ《蛇のプレスレットと指輪》 1899年 金、エナメル、オパール、ダイヤモンド 堺 アルフォンス・ミュシャ 館(堺市)蔵
	<input type="checkbox"/>		本展ポスター・チラシ画像(1ページ目掲載の画像)

お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市立文化館) 担当: 川口、藤本
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶



特
+
別
+
展

ミュシャ

Mucha
and
His Enigmatic
Painting
Quo Vadis

謎の絵画